

東奥日報

2021年(令和3年)5月7日(金曜日) (10)

アオモリの 作りの手たち

ベトナム・フエに滞在するアーティスト・イン・レジデンス「アオモリ」のメンバーたち。左から、藤原コトキ、上野コトキ、佐藤由紀、アロバカン、タケノコ、水島あかり、とが、フエの文化を盛り入れ、ローカルな文化の対比を考へる作品に挑んだ。

「社会にアートを介入させたい。どう関われば社会にいい影響をもたらせるのか」とも思いつく。フエには、バラン、又地元のアーティストが、八戸市の美術家・東川悠平さん(82)は現在、文化庁の派遣芸術家海外研修制度の研修員に採択され、ベトナム・フエに滞在している。コロナ対策のため、研修期間を終え、本報のオンライン取材に要約を寄った。11月までの滞在中、現地のアーティストが運営している「アーツ・イン・フエ」などのアートプロジェクトのなかで、フエから芸術的に価値のあるものを作ることを目指している。

美術家 東方悠平さん 八戸

アートで社会見つめる

「アートは社会を映し出す鏡である」という。フエに滞在するのはいま、2年前には1日帰国旅行、馬車や舞踊などで行ったアートプロジェクト「アーツ・イン・フエ」を完成させた。東川悠平さんは、フエに滞在して、馬車や舞踊などで行ったアートプロジェクト「アーツ・イン・フエ」を完成させた。東川悠平さんは、フエに滞在して、馬車や舞踊などで行ったアートプロジェクト「アーツ・イン・フエ」を完成させた。東川悠平さんは、フエに滞在して、馬車や舞踊などで行ったアートプロジェクト「アーツ・イン・フエ」を完成させた。



滞在先のベトナム・フエの街角に立つ東方さん(本人撮影)

くわがしかた・ゆうへい 1982年、札幌市生まれ。八戸市在住。北海道教育大学札幌校芸術文化課程美術コース卒業。筑波大学大学院芸術学専攻修士課程修了。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。2010年、第13回岡本太郎現代芸術賞受賞。17年に八戸市で「A I R - H」を立ち上げ、アーティスト・イン・レジデンス(A I R)プログラムの企画運営を行う。国内外でのアートプロジェクト、個展・グループ展多数。現在、令和2年度文化庁派遣芸術家海外研修制度の研修員としてベトナム・フエに滞在中。八戸工業大学感性デザイン学部講師。

※「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」